

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|--|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 23 | 利用者の思いや意向の把握は「その人らしい」個別のケアプラン作成の貴重なヒントである。今一度職員の話し合いを行ない、意向の把握の意義と記録方法について意識の統一を望みたい。 | 利用者の「その人らしい」暮らしの継続には意向や思いを反映した個別プランの作成 | 利用者の重度化もあり、身体的支援のプランが目立っており、カンファレンスの際にも、できる事、やりたいこと、その人の楽しみ、満足して生活してみえるかという「生活の質」、の話より、ADLの低下を中心とした内容のほうが多くなってきていた、その事実を再確認し、「その人の満足した生活」を実現できる。そのための情報の収集、共有と、ケアプランを作成し、実施していく。 | 12ヶ月 |
| 2 | 26 | 利用者の「その人らしい」暮らしの継続には意向や思いを反映した個別プランの作成が求められる。意向を反映したプラン作成に期待したい。 | 利用者の「その人らしい」暮らしの継続には意向や思いを反映した個別プランの作成 | 同上 | 12ヶ月 |
| 3 | 4 | 参加者がホームの状況を理解し意見を交わすためには2ヶ月毎のペースの開催が適当である。開催に向け一行願いたい。 | 運営推進会議の定期的開催 | 参加者がホームの状況を理解し意見を交わすためには2ヶ月毎のペースの開催が必要。まず年度内の開催を目指し、新年度早々の開催を目指す。新年度は、1年間の日時を予定として決定する。 | 12ヶ月 |
| 4 | 35 | 訓練に地域が参加している。更に地域と相互に協力する体制を明確にし、有事に備えるよう一考願いたい。また、飲料水の常備に加え食料の備蓄を望みたい。 | 災害対策は、地域の皆様のご理解とご協力を得るとともに、我々も皆様に協力できるように体制を作っておく。 | 運営推進会議を利用しての、防災避難訓練であったり、福祉避難所としての役割、また地域に有事の際どのような協力が可能であるのかを、ご家族、地域の方々、職員に説明をし理解協力を得る。 | 12ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。